年間授業計画 様式

高等学校 令和8年度（３学年用） 教科　家庭　科目 ファッション造形基礎

教 科： 家庭　科 目： 家庭基礎　単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：

使用教科書：（ ファッション造形基礎 ）

教科 家庭 の目標：

【知識及び技能】
【思考力、判断力、表現力等】
【学びに向かう力、人間性等】

人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え，家族・家庭の意義，家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め，家族・家庭，衣食住，消費や環境などについて，生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付けるようにする。
家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど，生涯を見通して生活の課題を解決するカを養う。
生涯を見通して，家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決するカを身に付けている。

科目 ファッション造形基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・衣服の構成・材料、製作の理論・技術について理解し、衣服を創造的に製作するために必要な知識を身につけている。 ・衣服の構成に関する実習や製図の実習、材料に関する実験などを通じ必要な技能を取得している。	・衣服の構成・材料及び製作に関して、自分の嗜好や家族の要求との関連をみつけることができる。 ・衣服の製作について、自分の考えをまとめ、目的に応じてどのような材料・デザインなどが適当かを判断する力を身につけている。 ・衣服のデザインや材料の選択に関し、個人の創意・工夫を表現することができる。また製作過程や作品の着用において、必要に応じて個人の創意・工夫をいかし表現することができる。	・衣服の構成・材料・製作について関心をもち、衣生活の充実・向上をめざして意欲的にとりくむとともに、衣服を創造的に製作する態度を身につけている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	1章 衣服の構成 2章 衣服の素材	・和服の構成と装いの文化を洋服と比較しながら理解を深める。 ・和服の構成と素材	【知識・技能】 ・和服の種類と特徴、構成と各部の名称、できあがり寸法と裁ち切り寸法の関係や柄合わせなど布地の裁断法、縫製、仕上げ・たたみ方などに関し、基本的な知識があり、和服の製作上の特徴と注意点について理解している。 ・和服の製作の実習に際し、題材に応じた裁断、縫製、仕上げを行う技法を習得しているとともに、計画に従い能率的に製作を行うこうとができる能力を身につけている。	○	○	○	10
			・和服の種類による用途の違いや礼装についての基礎的な知識があり、帯・小物などとのコーディネートの意味についても理解している。 ・和服の基本的な着付けについての技能があり、製作した作品を着用することができる。 【思考・判断・表現】 ・具体的な製作にあたり、着用目的・着用者の個性・季節などを考え、材質・色・柄や技法・用具について考え、選択し、判断することができる。 ・実習題材の材質・色・柄などに関し個人の創意・工夫を表現することができる。 ・製作した和服の着装のなかで、帯・小物などとのコーディネートを考え、発表会などの形で表現できる。	○	○	○	
	4章 和服の製作	・和服の製作（浴衣）		○	○	○	10
		・ワークシート、視覚教材、教科書、 ・一人１台端末の活用	【主体的に学習に取り組む態度】 ・和服の種類やその製作技法について関心をもち、具体的な和服の製作に意欲的にとりくむ態度をもっている。 ・和服のデザインや帯・小物などとのコーディネートについて関心をもち、作品の製作や発表などに意欲的にとりくむ態度をもっている。	○	○	○	10
	定期考査	課題提出（作品を含む）など		○	○		1
2学期	4章 和服の製作（続き） 1章 衣服の構成 2章 衣服の素材	・洋服の構成と素材	【主体的に学習に取り組む態度】 ・立体構成衣服の製作のために必要な平面作図の原理・技法に関心をもち、それらについての理解や基本的な知識の習得に意欲的にとりくむとともに、実際の衣服の製作 【思考・判断・表現】 ・衣服製作の題材や目的に応じて適切な原型や製図の技法を選択できる。 ・具体的な衣服の製作にあたり、着用目的・着用者の個性・流行などを考え適切なデザインを選択することができる。またその題材に応じた裁断・製図法や材料、技法・用具について考え、選択し、判断することができる。 ・実習題材のデザイン・材料などに関し個人の創意・工夫を表現することができる。 ・製作した衣服を用いて他の衣服との組み合わせや小物などを利用したコーディネートを考え、発表会などの形で表現できる。	○	○	○	12
	3章 洋服の製作	・市販の型紙を使用した洋服の製作 ・ワークシート、視覚教材、教科書、 ・一人１台端末の活用		○	○	○	12
	定期考査	課題提出（作品を含む）など		○	○		1
3学期	3章 洋服の製作（続き） 1章 衣服の構成 2章 衣服の素材	・洋服の製作		○	○	○	6
	定期考査	課題提出（作品を含む）など		○	○		1
	・SDGSの視点を加えた衣生活の提案	・余り布を活用する方法と作品の製作	【まとめ】衣生活にかかわる産業の事象を、協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の伝承・創造、持続可能な社会の構築などの視点でとらえられる。	○	○	○	7
							合計 70